

守

買い物客に
2団体実施
護憲を訴え

る

5/4(水)日



憲法記念日の二日、県内の護憲派の二団体が、富山市総曲輪で買い物客らに安全保障連法の廃止や護憲を呼び掛けた。

訴えたのは、ともに労働組合が主体の憲法擁護県民連合と県平和運動センター。約三十人が「戦争放棄を定める九条を守ろう」「平和な社会を守ろう」などに引き継ぐため、憲法改悪を許してはなりません」などと書かれたチラシや、安全保障連法の廃止を求める署名用紙を五百人に配った。活動に参加した県民連合代表の佐幸明県政組委員長は「日本が七十年間、武器を使用せずに平和を守ってきたのは憲法があるから。世界に誇れる憲法を変えてはいけない」と力を込めた。(豊田直也)

安全保障連法の廃止を呼び掛けるチラシを配るメンバー＝富山市総曲輪で

参院選へ支持訴え
県内で憲法キャラバン
憲法擁護県民連合と県平和運動センター、社民党県連合は3日、憲法記念日に合わせて県内全域で憲法キャラバンを展開し、街頭演説やリーフレットの配布を通じて護憲を訴えた。夏の参院選選挙区に野党統一候補として出馬する道用悦子氏(50)＝朝日町月山新＝も参加し、支持を呼び掛けた。

富山市の総曲輪フェリオ前では、社民党の又市征治幹事長が「安倍政権の暴走政治と憲法改悪を止めるため、道用悦子の支持に協力をお願いしたい」と述べた。道用氏も「平和憲法を何としても守り抜く」と訴え、社民党県第一区支部連合の岡崎信也代表と村石篤副代表、同党県連合の東郷国民運動推進本部長もマイクを握った。

憲法について考えましたか

語

歴史と希望
聴衆300人に
持論を展開

る



神戸女学院大名誉教授の思想家内田樹さんが二日夜、富山市の市民プラザで、「憲法と敗戦」と題して講演した。夏の参院選に向けて改憲問題が取り沙汰される中、改憲や日米関係について持論を展開する内田樹さん＝富山市民プラザで

改憲問題や日米関係について持論を展開する内田樹さん＝富山市民プラザで

国の属国」と断じて「日本の首相の政策の適否を判断するのは米国」と指摘した。さらに「今の国民は主権国家がどういふことなのか知らない」「属国民であることに目をそらしているのが、日本政治の腐敗」などと持論を展開した。

改憲については「護憲運動の盛り上がりでなく、米国が反対するから失敗する」と分析。「天皇又は(中略)その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う」という憲法九九条に触れて「天皇陛下が『憲法を守る』と言ったろう」とも語った。若者グループ「SEALDs」(シーلز)など若い世代が声を上げていることを「唯一の希望」として期待した。講演会は、憲法記念日を前に「日本国憲法をまもる富山の会」と県平和運動センターが共催した。(山中正義)

2016年5月7日(土)
13時30分開会

富山国際会議場
3階メインホール
富山市大手町1 TEL0764245931

変えんまいけ・とやま。

安民法制の廃止。立憲主義を取り戻すために...

どうよう 道用えつ子を

励ます大集会



街頭で護憲を訴える憲法キャラバン＝富山市西町で

憲法記念日にアピール

護憲団体など「キャラバン」

憲法記念日の3日、憲法擁護県民連合と県平和運動センターが「憲法キャラバン」を行った。街並車4台に分かれて県内を巡り、街頭演説やチラシ配布などで護憲を訴えた。

富山市西町の繁華街では、両団体を構成する労働関係者ら約30人が参加。「9条を擁護すな」「私たちが主権者」

【上野宏人】

